

令和7年4月に府中市教育長に就任してから、早くも半年が過ぎました。この間、市内の小・中学校をはじめとする教育現場を訪問し、多くの子どもたち、教職員、そして地域の皆さまとふれあう中で、府中市の教育が持つ力強さ、そして地域に根ざした温もりを日々実感しております。

一方で、日本の教育を取り巻く環境は、厳しさを増しており、府中市においても、学力の着実な定着と向上、不登校やいじめなどの生徒指導上の諸課題への対応、教職員の人材育成と働き方改革など、課題は多岐にわたっています。こうした課題一つひとつに真正面から向き合い、現場とともに汗をかきながら、府中市として確かな一歩を踏み出していく決意です。

そして、子どもたちに、自ら考え、多様な他者と協働し、未来を切り開いていく自律した力と学び続ける姿勢を教育現場とともに育ててまいります。

同時に、「学校教育」と並ぶもう一つの大きな柱である「社会教育」においても、地域の教育力の低下や、家庭・地域での学びの機会の減少といった課題が指摘されています。これからの教育は、家庭・地域・学校が手を携え、子どもたちの育ちと学びを社会全体で支える「協働」の視点がますます重要になります。府中のまち全体を「学びの場」と捉え、すべての世代が生涯にわたって学び続けられる環境づくりを進めてまいります。

子どもたちが希望を胸に未来に羽ばたいていけるように、また、市民の皆さま一人ひとりが学びの喜びと成長の実感を得られるように、私たち教育委員会は、地域の皆さまと対話を重ねながら、教育の力で府中市の未来を創り上げてまいります。

今後とも、府中市の教育に対する温かいご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年10月

広島県府中市教育委員会教育長 杉本 真一